

『平和を輸出』をする国コスタリカ

(すえひろ9条の会)

位置 メキシコの南端。南北アメリカ大陸をつなぐ回廊、中央アメリカ。北海道ほどの面積。
地勢 山も川も多く、太平洋とカリブ海にはさまれ、年間を通じて海からの上昇気流で発生する霧が森を包む、「熱帯雲霧林」をはじめ、変化に富んだ地形や環境によって、コスタリカは多種多様な動植物の宝庫である。

歴史 1502年 コロンブスにより発見。先住民の抵抗が激しく退散。
1562年 スペインが征服。山多く傾斜地で夢の大規模農業不可。一部はグアテマラへ移動。
1808年 キューバから移植されたコーヒー栽培。ヨーロッパへ輸出。大好評！
1821年 中米五ヶ国、スペインから独立。国内では独立派、メキシコとの合併派と権力抗争。
1829年 独立派勝利！直接選挙で教育者ファン・モラ・フェルナンデス総裁。平和主義者。
1948年 大統領選挙結果無視に武装蜂起(ホセ・フィゲレス)犠牲者 2000人。建物の弾痕。
1949年 軍隊放棄・平和堅持を明文化した現行憲法を1人の反対もなく立法議会で成立！！
1983年 (米ソ冷戦期) 永世的・積極的・非武装中立国宣言！

モンヘ大統領言『唯一の外交策。力強く押してくれたのはコスタリカ国民の平和を愛するという気質でした。もう一つ、私を支えてくれたのは独立国の初代総裁ファン・モラ・フェルナンデスの軍隊をなくす平和主義の教えが私の精神を強く後押ししてくれました』。

1986年 オスカル・アリアス大統領

『平和憲法を持っている国は、自分の国が平和であることだけで満足するのではなく、周りの国に平和を輸出すべきである。もっとも良い防衛手段は、防衛手段をもたないことだ』。

周囲の内戦3ヶ国に「対話による解決」を呼びかけ平和に解決する。

その功績で、ノーベル平和賞を受賞。

2004年 アベル・パチェコ大統領とロベルト・サモラ青年

アメリカのブッシュ大統領のイラク戦争を支持したパチェコ大統領。

すぐさま、大学生のロベルト・サモラさんが政府を憲法法廷に提訴。

『イラク戦争支持は 中立国のコスタリカとして違憲である』。と。

判決『アメリカのイラク戦争支持は違憲であり支持を取り下げること』。

一学生が国の政策に反対。大統領は米国支持を取り下げ、ロベルトさんは勿論、全ての国民に謝罪したのは言うまでもない。このニュースは世界を駆け巡った。前後して、日本各地で小泉政権を相手に「イラク戦争に自衛隊派遣反対！」の訴訟を起こした。裁判は長期にわたり、コスタリカのような名判決を出せなかった。

ロベルト・サモラさんは、今や弁護士に。よく来日され積極的平和主義を講演。『法九条を世界広めるべき宝。国内での不毛な議論より国際世論に訴えるべき』。と

平和憲法の下でコスタリカの理念

1. 「警察官より先生が多いの」「軍事じゃない。教育だ」。

軍隊を放棄したら軍事費が不要(国家予算の30%)となり、そっくり教育費に充てた。結果、国民の識字率は99%の教育国家となった。警察官は陽気に旅行者に説明し話しかける

・侵略について

◇「我が国は侵略されないよう平和を広める努力をしてきた。この国を攻める国があるとは考えられない」。(八百屋のおじさん)

◇ 同じような答え。更に「私は自分の国のしてきたことに一人の国民として誇りを持っている」。(女子高校生)

◇「まず警察隊が対応する。しかし、最終的には政治家が話し合いによって、平和的に解決してくれると信じている」。(巡回中の警官二人)

コスタリカ人の信念『軍備を持たないからこそ平和が出来る』。

2. 学校教育の基軸

①「価値観の創造」

人権の尊重・自然を大切に・平和を愛し・物事対して自分で考えること。

誰もが愛される権利がある。(憲法裁判所の提訴。8歳から。365日。24時間。可。)

②「平和教育・紛争解決を学ぶ教育」

すべての暴力の存在を否定し、争いを話し合いで解決する。

③「政治参加についての教育」

子どもたちの政治活動の自由・児童会・生徒会活動盛ん。会長選挙は大人と同じ。

3. エコツーリズムの発祥の地・・・モンテベルデ

1951年アメリカの徴兵を拒んだ41名能力クエーカー教徒達が、モンテベルデ雲霧林生物保護区に移住し酪農を中心とした農業を定着させた。同時に彼らの主導で地元農民と協同組合を結成、森など天然資源の保全に努めた。その後自然を守りつつ観光資源として二律背反的なテーマに取り組んだ。国立公園や自然保護区として環境を保護し、入場料を頂き、ガイドを育成・雇用・保護区や周辺環境の整備に努め空気の輸出と言う。

4. 賢い政府

①大統領は1期制・・・長期政権は独裁につながる。

オスカル・アリアス大統領が大統領の再選の必要性をを説き、国会で反対されたが選挙最高裁判所認めさせ成功した。ただし、継続は不可。

②憲法裁判所・・・自分が国からきちんと扱われていないと感じたら違憲裁判提訴。

氏名・連絡先・内容だけで。後は裁判所が進める。学童以上。

③歴史から学ぶ・・・内戦の弾痕は現在もそのまま使用。不要の刑務所は子供博物館に。

国連平和大学1980年 ロドリゴ・カラゾ大統領の努力で創設。

プランニング・資金・土地・建物全てコスタリカで実施。日本人2名在学中。